

## 平成16年度COE特別研究奨励費研究計画調書

(ふりがな) 氏 名	やまがた さえこ	所 属	資 格
	山形 紗恵子	数学 専攻	COEフェロー・博士(4年・3年・ <u>2年</u> ・1年)
研究課題	40文字以内で記入すること。 非正曲率空間と、その上に作用する群(特に Coxeter 群)の構造の研究。		
研究指導者	職 名	氏 名	15年度奨励費採択の有無
	助教授	藤原 耕二	有 ・ <u>無</u>

研究目的	募集要領の趣旨に沿った目的を箇条書きで具体的に記入すること。
<p>○ 幾何学的な立場から群の構造を分析すること。 「幾何学的な立場から」というのは、研究対象の群に対してその群がある条件の下で作用するような空間を考えて、その空間への群作用によって群の構造を分析するのである。</p> <p>○ 群作用と相性の良い非正曲率空間の構造を分析すること。 主に CAT(0) 空間の構造を知りたいと考えている。その中でも特に、その境界の構造について興味を持って研究している。</p>	
研究計画	研究経費との関連も含めて、何をどこまで明らかにしようとするかがわかるように焦点を絞り、箇条書きで記入すること。 また、設備備品費又は旅費が90%を超える場合は、研究計画の特殊性ないし特殊事情について記入すること。
<p>○ CAT(0) 次元と、幾何学的次元の差が 2 である群を作る。</p> <p>○ Coxeter 群が作用する非正曲率空間の構造、特に境界の構造を解明する。</p> <p>上の 2 つのうちどちらか 1 つでも解明できたら、その結果について、学会や研究集会などで積極的に発表していきたいと考えている。また、自分と近い分野の他の研究者の研究発表も聴きに行きたいと考えている。そのための旅費を申請した。</p> <p>また、自分の研究発表のとき、ノートパソコンがあれば、そのパソコンを持参して自分が描いた図などをプロジェクターで写しながら発表できるので大変便利である。従ってそのための費用も申請した。</p>	